

令和3年度 第14回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和4年3月8日（火） 13時00分から14時30分まで

開催場所：分散型WEB会議（市長公室、A203-204会議室ほか）

出席者：佐藤市長、高田副市長、代田教育長、櫻井総務部長、塚平総合政策部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、串原産業経済部長、星野産業経済部参事、米山建設部長、毛利建設部参事、土屋上下水道局長、宮内市立病院事務局長、原田市長公室長、田中危機管理室長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、松下教育委員会参与、南信州広域連合吉川事務局長、佐々木財政課長、林企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

明日から一般質問がはじまる。各部局長には対応をお願いする。新型コロナウイルス感染症の市内の感染状況について、中学校や保育園でも複数名の感染が広がっている。各学校、各園で感染対策をしっかりしていただくのは勿論のこと、家庭での感染の広がりをどう抑えていくか。非常に難しい局面ではあるが、感染拡大に注意を呼びかけていかなければならない。職員も、改めて換気や消毒など色々な対策をし、家族に具合の悪い方がいる場合には出勤を控えるなど、基礎的なことを、お互いに改めて気を付けること。来週の卒業式ははじめ今年度の最後まで学校生活を送れるよう、地域を上げてしっかりと取り組んでいかなければならない。

<副市長>

本日、午前中のリニア特別委員会までで、今議会の委員会が終了した。各関係部課長には、対応に感謝申し上げます。

2月28日に南信州広域連合議会が開催され、2月の半分ほどは、広域連合議会の対応があった。その中で、飯田警察署と（仮称）南信免許センターについて、広域連合としての集約ができたのは大きかった。後ほど報告があるが、10年来の懸案に地域として方向性が定まった。これから具体的に動いていくことになるので、引き続き対応をお願いしたい。

南信州リニア未来ビジョンが、広域連合全員協議会で発表されたところである。飯田市も中部ブロックとしての考え方を整理したが、4つのブロックがそれぞれに整理したものを、広域連合として今後まとめていくこととなる。各ブロックの様子を見た上で、飯田市としての考え方を、もう一度検討していただくことになるので、改めてお願いしたい。

<教育長>

私からは2点お話をしたい。まず1点目は、新型コロナウイルスの状況についてお伝えする。今、学校ではクラスターに近い状況が起こっている。中学3年生にとっては、明日が高校の後期選抜試験になるため、試験が無事行われるように、感染により追試となる生徒の心のケアを、病院を含めて学校、保健所、教育委員会で万全体制を取っている。市民には、不安な声もあるかもしれないが、力を合わせて対応しているので、どの中学校であるかなどの詮索や疑心暗鬼になるような情報が飛び交わないように、お力をお借りしたい。

2点目は、今議会の委員会説明を聞いていて、議員からは細かい点まで指摘があり、活かしていきたいと思う一方で、これら全てを事務事業に積み上げてしまうと、現場の仕事が膨らんでいってしまうとの懸念もある。優先順位だけでなく、劣後順位、何をやるかをマネジメントしないと、組織は回らないという考え方がある。今年度の取り組みを進めていく中で、優先順位を落とし、勇気をもって止める覚悟も必要となる状況があると感じたので、お伝えしたい。

2 協議事項

(1) 飯田市地域防災計画の修正について（危機管理室）

◇趣旨：令和3年度飯田市地域防災計画の修正について協議する。

◇論点・課題

- ・昨年度からの主な修正点として、令和3年5月の避難勧告の廃止、避難行動要支援者の個別避難計画についての追記など、災害対策基本法改正に基づき修正する。

- ・令和4年度の飯田市組織機構改革を、地域防災計画に反映する。

◇主な意見等

- (建設部長) 避難行動要支援者の個別避難計画は努力義務となっているが、個別計画の有無が補助事業の採択に影響する。
- (危機管理室次長) 承知している。健康福祉部のみならず、社会福祉協議会、地域の皆さんにお力添えをいただいて、計画を策定していく。

3 報告事項

(1) 飯田市行財政大綱に基づく実行計画の報告について (総務部)

◇趣旨：2021年度から2024年度の飯田市行財政大綱に基づく実行計画を報告する。

◇論点・課題

- ・2021年度の実績と、2022年度の計画について報告する。
- ・今年度に策定した4つの取組の柱と実行計画目標についても、あわせて報告する。

(2) 指定管理者制度におけるガイドラインの見直しについて (総務部)

◇趣旨：指定管理者制度に関するガイドラインの見直しについて報告する。

◇論点・課題

- ・市議会や監査等からの指摘を受け、指定管理者制度に関するガイドラインについて見直し、令和4年度より本格運用する。
- ・見直しの6つのポイント、新ガイドライン運用の概要について3月22日全員協議会にて報告する。

(3) 公用車の事故及び飲酒運転根絶の取組状況の報告並びに道路交通法施行規則の一部改正に伴うアルコールチェックの実施について (総務部)

◇趣旨：公用車の事故及び飲酒運転根絶の取組状況について報告する。あわせて、道路交通法施行規則の一部改正に伴うアルコールチェックについて、令和4年度より実施する。

◇論点・課題

- ・公用車事故の年間発生件数は、目標の18件に対し本日現在13件である。年度末となる3月は、一層の事故防止対策をすること。
- ・公用車事故防止の取組として、事故未然防止ポイントを交通安全講話で資料としたり、グループウェアに掲載したりして周知するなどの取組みを行った。また、交通事故当事者に対し、自動車学校にて安全運転講習を受講させ再発防止に努めた。
- ・飲酒運転根絶の取組では、職場ごとに「飲酒運転根絶の取組」を自筆で記載し掲示するほか、職員を対象とした啓発メールの配信、全国発生事例を庁内グループウェアに掲載した注意喚起などを実施した。
- ・令和4年4月から、道路交通法施行規則の一部改正に伴い、運転前後のアルコールチェックを実施する。所属長は運転前後の職員の状態を、アルコール検知器の準備前までは目視で確認すること。配車申請書に記録し、1年間保存する。

(4) 令和4年度記者会見の日程について (市長公室)

◇趣旨：令和4年度記者会見の日程を共有する。

(5) 令和4年度広報いいた特集掲載計画について (市長公室)

◇趣旨：広報いいたの令和4年度の特集予定について報告する。

◇論点・課題

- ・特集記事とテレビ広報は連携した発信を行う。
- ・YouTubeの飯田市チャンネルでは、テレビ広報よりも短い1分から5分程度の動画を配信している。

文字だけではなく動画によるお知らせを強化していく。

(6) 飯田警察署及び(仮称)南信免許センターの設置場所について(総合政策部)

◇趣旨:南信州広域連合議会全員協議会において確認された案件について共有する。3月22日の飯田市議会全員協議会にて報告する。

(7) 飯田市議会全員協議会(3/22)における報告事項について(総合政策部)

◇趣旨:3月22日に開催予定の飯田市議会全員協議会において予定されている案件を報告する。

4 閉会